



えのしろ

よっかいちしりつみえきたしやうがっこう
四日市市立三重北小学校

れいわ ねん がつこのかほつこう
令和5年8月9日発行

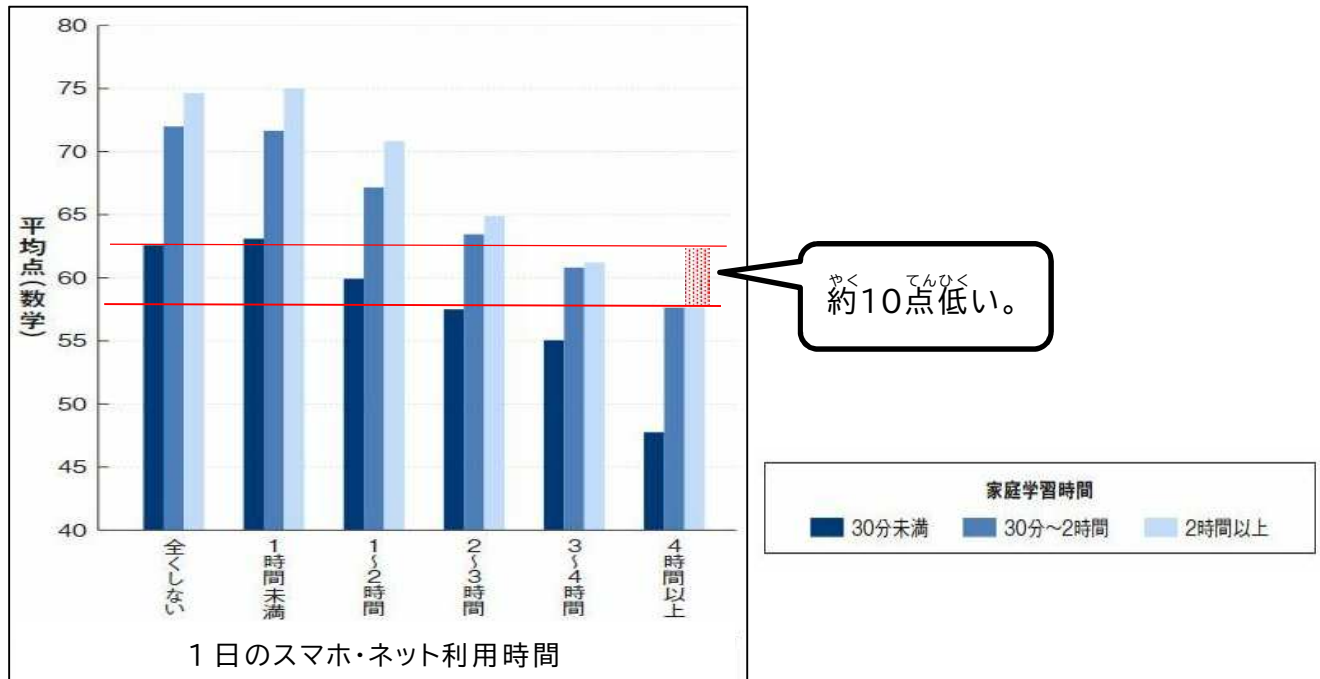
がっこうきやういくもくひやう みづか かんが こうどう こ いくせい
学校教育目標 「自ら考え、行動できる子どもの育成」



スマホ・ネットの使い過ぎで、学力低下

よなか つか す がくりよくていか
世の中では、スマホやネット環境の普及による「ネット依存」が問題となっています。この問題は、子ども達にとっても例外ではなく、大きな影響を与えています。

がつ ほんこう がいぶこうし だまえじゆぎやう さい たいへんきやうみぶが はなし
7月に本校で外部講師による e ネット出前授業を行っていただいた際に、大変興味深いお話がありましたので、保護者・地域の皆さんにもお伝えしたいと思えます。



このグラフは、平成25年にある県の中学校で行われた調査結果です。縦軸は「全国学力学習状況調査の数学の得点」、横軸は「1日のスマホ・ネット利用時間」、棒の色の違いは「1日の家庭学習時間」を表しています。

<グラフから分かることは？>

- ①家庭学習時間が長いほど、テストの得点が高い。
- ②スマホやネットを使う時間が長いほど、テストの得点が高い。
- ③4時間以上スマホやネットを使っている生徒は、1日2時間以上家庭学習をしていても、1日30分未満しか家庭学習をしていないが全くスマホやネットを使っていない生徒よりも得点が高い。

①と②は、グラフを見なくてもおそらく想像できる結果だと思えます。

しかし、問題は③です。これは、「4時間以上のネット・スマホ使用によって、2時間以上の学習効果が消えてしまう」ということです。つまりネット・スマホの過度使用は、脳に何らかの影響を

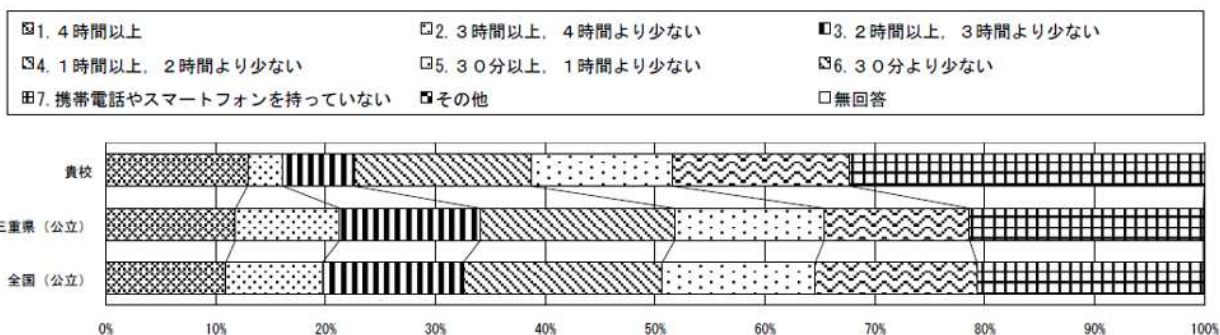
あた かんが
与えているとも考えられます。

これらの結果を見ると、スマホ・ネットを使い過ぎると、学力低下につながるということが分かります。成長過程にある子ども達が、ネットやスマホを使い過ぎてしまうことは、大変危険なことであり、可能性のある能力を奪ってしまうかもしれません。

では、どうすればよいのかということです。子ども達に口で「ネットやスマホのやりすぎはダメだよ。」と注意するだけであったり、本人の自主性に任せてしまったりするだけでは心配です。やはり、小学生の段階では、ご家庭でスマホ・ネット使用のルールを作ること、そして、そのルールが守られているかチェックすること、が大切です。

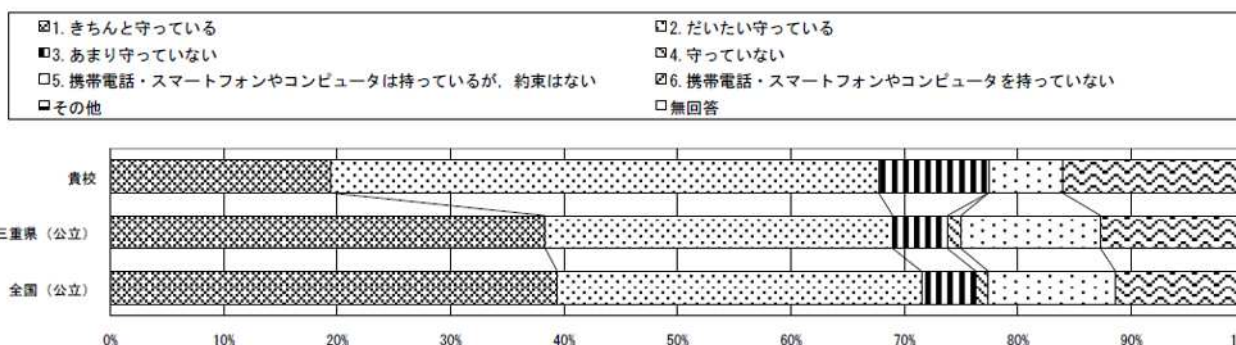
下のグラフは、令和4年度の本校の全国学力学習状況調査における児童質問紙の結果の一部です。

Q. 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。



→「携帯電話やスマートフォンを持っていない」「30分より少ない」と回答した割合が全国に比べて多いです。一方で「4時間以上」と回答した割合も多いことが分かります。

Q. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



→「あまり守っていない」と回答した割合が全国に比べて多いことが分かります。

これから成長していく子ども達の力を更に伸ばすために、是非ご家庭でお子さんと一緒に考えていただきたい話題だと思えます。